平成24年2月15日

各　　位

会　社　名　株式会社SmartEbook.com
代表者名　代表取締役　安嶋　幸直
(JASDAQ・コード2330)
問合せ先　取締役財務部長　飯田　潔
電　　話　092－263－5911

# 平成23年12月期連結業績と前年実績との差異及び特別損失の計上並びに配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成23年12月期（平成23年1月1日～平成23年12月31日）の当社連結業績につきまして、前年実績と比較して差異が生じることが予想されますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1.　平成23年12月期　（平成23年1月1日から平成23年12月31日）の連結業績と前年実績との差異

（単位：百万円）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|
| 平成23年12月期実績（A） | 1,211 | △1,156 | △1,107 | △1,731 | 円　銭<br>△787.31 |
| 平成22年12月期実績（B） | 4,014 | △998 | △992 | △1,490 | △671.71 |
| 増減額（B-A） | △2,802 | △158 | △115 | △241 | － |
| 増減率（%） | △69.81% | | | | － |

2.　差異が生じた理由

当社グループでは「再成長戦略プラン」(2010年）において掲げた①ビューワー開発、プラットフォームの開発、広告モデル商品の開発と、3つの再成長戦略に基づき、成長過程にあるスマートフォンや電子書籍市場でのB2Bビジネスの構築に特化し、積極的に事業を行ってまいりました。

しかしながら、売上高につきましては、「フィーチャーフォン」から「B2Bビジネス」「スマートフォン」への転換に伴う事業ポートフォリオの組み替えの影響により売上高減少の要因となり、売上高は前年実績比2,802百万円減少の1,211百万円となりました。損益につきましては、プラットフォーム開発や、商品化に向けたビューワー開発、各エリア・多様な言語425万タイトルのライセンスの獲得と素材制作等の先行投資により、営業損失は、前年実績比158百万円増加の1,156百万円の減益となりました。当期純損失につきましては、減損損失197百万円、投資有価証券評価損119百万円を計上した

ことから、前年実績比 241 万円増加の 1,731 百万円となりました。

3.　特別損失の計上について

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、収益性の低下が見込まれるフィーチャーフォン系資産（配信用ソフトウェア、のれん等）の減損損失と、非上場株式等について、取得時よりも実質価額が著しく下落したため、評価損を計上いたします。

減損損失　　197 百万円
投資有価証券評価損　119 百万円

4.　平成 23 年 12 月配当予想の修正

（1）修正の内容

| | 期末配当 | 年間配当 |
|---|---|---|
| 前回予想（平成 23 年 11 月 9 日） | －円 | －円 |
| 今回修正予想 | 0.00 円 | 0.00 円 |
| （ご参考）平成 22 年 12 月期実績 | 78.00 円 | 78.00 円 |

（2）修正の理由

当社は株主還元を経営の重要課題と認識しておりますが、当期業績を鑑み誠に遺憾ではありますが、期末配当予想を無配に修正させていただきます。

以上